

れんごう中越地協

第910号2016.11.1
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



柿川に親しむ会が主催する第20回目

柿川周辺清掃と歴史探訪の集い

長岡戦災資料館で特別講演 長岡空襲体験談に参加者が聴講

柿川に親しむ会が主催して20回目となる「柿川周辺清掃と歴史探訪の集い」が、10月8日(土)行われた。当日は空模様心配さ

れ、天を仰ぎつつの日であった。柿川に親しむ会は、プラン21、連合中越地協、同SJネット委員会、NPO法人地域循環ネットワーク等で実行委員会を構成し、3回の実行委員会で計

画を練ってきた。参加者は45名。雨が心配されるため、予定より早い9時前に開会した。司会は、齋藤SJネット委員がつとめ、南代表(ふらん21)が「20回目のメモリアルを迎えた。記念事業は本日と切り離し『形に残るもの』を検討していく。予報では午前中は持っただろう」等の開会挨拶を行う頃からポツポツと雨が落

ちはじめた。脇園SJネット委員が行動説明、脇屋委員(ふらん21・郷土史研究会)が、4コースの各講師陣(長岡市郷土史研究会)を紹介し、参加者は各コースに分かれ整列した。コースは「本丸コース」「観音様コース」「藩校コース」「智慶様コース」で、例年通り清掃をしながら要所で先生から歴史説明を受け、目的地の長岡戦災資料館で特別講演を受ける。

演を受ける。S Jネット委員会は、列島クリーンキャンペーン事業として参加しており、4コースの案内とタイムキーパーを務めた。雨が大きくなってきた中、9時20分に出発した。本丸コースの追廻橋では「馬を追いまわすから追廻と言って、グラウンド程の馬場が

あった」等の説明があった。また、藩校崇徳館があった建物の付近では由来が説明されていた。コースをまわり終えた一行は、雨だったこともあり10時20分頃から長岡戦災資料館に到着した。早い組は、1階の遺品等の展示、3階の長岡空襲殉難者の遺影や住宅消失地図を見学していた。

11時過ぎには3階に全員が揃い、「当時は6歳なのでわずかな体験と戦後の話をします」と前置きされた、語り部の今泉恭子さんから、次のような長岡空襲体験を聴講した。模擬原爆が45年7月20日左近に落とされたが、当時宮原に住んでいた。ものすごい地響きだったことを覚えている。

空襲当日の8月1日も、いつもの様に枕元に着る物をたたんで寝ていたところ、早く早く母に言われて起きた。母に手を引かれて逃げたが、足が光つていたことを覚えていた。母が自



母に手を引かれて逃げたが、足が光つていたことを覚えていた。母が自



分を引つ張ったとき「ズーと音がして」何か私がいないと うまくいく

が落ちた。今思うと焼夷弾か。そして、田んぼの中で必死にこらえていた。父が「火が付くと大変だから、セルロイドの筆入れを持っていったら投げ出せ」といった。私の宝物だった。ようやく周りが見えはじめ爆撃機もいなくなつて田んぼから出れ、第20回目の集いを終了した。

あつた」等の説明があった。また、藩校崇徳館があった建物の付近では由来が説明されていた。コースをまわり終えた一行は、雨だったこともあり10時20分頃から長岡戦災資料館に到着した。早い組は、1階の遺品等の展示、3階の長岡空襲殉難者の遺影や住宅消失地図を見学していた。

11時過ぎには3階に全員が揃い、「当時は6歳なのでわずかな体験と戦後の話をします」と前置きされた、語り部の今泉恭子さんから、次のような長岡空襲体験を聴講した。模擬原爆が45年7月20日左近に落とされたが、当時宮原に住んでいた。ものすごい地響きだったことを覚えている。

空襲当日の8月1日も、いつもの様に枕元に着る物をたたんで寝ていたところ、早く早く母に言われて起きた。母に手を引かれて逃げたが、足が光つていたことを覚えていた。母が自

分を引つ張ったとき「ズーと音がして」何か私がいないと うまくいく

が落ちた。今思うと焼夷弾か。そして、田んぼの中で必死にこらえていた。父が「火が付くと大変だから、セルロイドの筆入れを持っていったら投げ出せ」といった。私の宝物だった。ようやく周りが見えはじめ爆撃機もいなくなつて田んぼから出れ、第20回目の集いを終了した。

あつた」等の説明があった。また、藩校崇徳館があった建物の付近では由来が説明されていた。コースをまわり終えた一行は、雨だったこともあり10時20分頃から長岡戦災資料館に到着した。早い組は、1階の遺品等の展示、3階の長岡空襲殉難者の遺影や住宅消失地図を見学していた。

11時過ぎには3階に全員が揃い、「当時は6歳なのでわずかな体験と戦後の話をします」と前置きされた、語り部の今泉恭子さんから、次のような長岡空襲体験を聴講した。模擬原爆が45年7月20日左近に落とされたが、当時宮原に住んでいた。ものすごい地響きだったことを覚えている。

空襲当日の8月1日も、いつもの様に枕元に着る物をたたんで寝ていたところ、早く早く母に言われて起きた。母に手を引かれて逃げたが、足が光つていたことを覚えていた。母が自

あつた」等の説明があった。また、藩校崇徳館があった建物の付近では由来が説明されていた。コースをまわり終えた一行は、雨だったこともあり10時20分頃から長岡戦災資料館に到着した。早い組は、1階の遺品等の展示、3階の長岡空襲殉難者の遺影や住宅消失地図を見学していた。

11時過ぎには3階に全員が揃い、「当時は6歳なのでわずかな体験と戦後の話をします」と前置きされた、語り部の今泉恭子さんから、次のような長岡空襲体験を聴講した。模擬原爆が45年7月20日左近に落とされたが、当時宮原に住んでいた。ものすごい地響きだったことを覚えている。

空襲当日の8月1日も、いつもの様に枕元に着る物をたたんで寝ていたところ、早く早く母に言われて起きた。母に手を引かれて逃げたが、足が光つていたことを覚えていた。母が自



副議長
小堺宏彦

「イ」にもつながるのです。自転車競技は日本ではまだマイナーですが、これは、スポーツタイプ自転車が高価で身体が成長段階の年少の競技者が成長に合わせて簡単に購入できないから、と言われている。自転車競技が盛んなフランスなどでは、年少時は体に合わない自転車を売却し、新たに中古の自転車を購入する、いわゆるリユース(Reuse)で対応しているとのことです。日本人は体質的にマラソンに代表される心肺能力を必要とするスポーツが得意といわれていますが、同様に心肺能力が必要な自転車競技が普及しないのは、このあたりが問題なのではないかと考えます。自転車に限らず何か始める時は安価な中古で十分だと思ふのですが、その際はくれぐれも経験者の助言を受けてください。最近では軽さと強度を求めてカーボン素材の道具がありますが、素材自体に寿命がありますので注意が必要で

サラリーマン川柳(つい聞いた「冬眠する気?」妻の腹)(パンプキン 英語で言うな かぼちゃだる)(気がつけば 怒る母より 背が高い)(相談は 答えを出せる 人に聞け)

長岡北支店 開設40周年記念特別キャンペーン

笑顔の輪を「つなげよう」キャンペーン

ご好評につき 第2弾

期間 2016年10月3日(月)~12月30日(金)

キャンペーン期間中、下記ご契約をいただいた方に
もれなく! 特別景品を進呈いたします。

ボックス
ティッシュ 5箱

カップめん
2個

カフェオレ (カフェインレス)
スティックタイプ
1箱 (7本入)

の中からいずれか1つお選びください!

景品対象

- ①定期預金30万円以上新規お預け入れ(期間1年以上)
- ②積立型預金(財形・エース預金)新規契約
- ③積立型預金(財形・エース預金)増額
- ④ろうきんダイレクト新規契約
- ⑤Webお知らせサービスの新規契約
- ⑥お子さま口座新規契約
- ⑦口座振替(公共料金・税金等)2項目以上
- ⑧給与振込のご指定
- ⑨公的年金振込のご指定

お問い合わせは

ろうきん 長岡北支店

〒940-0023 長岡市新町3丁目2番6号

TEL.0258 (34) 5010

詳しくは店頭へお問い合わせください。

連合中越加盟単組紹介

— 全新潟運輸労働組合中越支部 —



全新潟運輸労働組合の活動は、スキルアップの為に学習会、新規組合員の為にセミナー、意見交換の為に各部会を毎年5月に開催。厚生行事は本部主催で毎年開催し、本年は7月16、17日に三重「ナガシマスパーランド」で開催、家族単位での参加で大盛況でした。

中越支部としましては、ボウリング大会を毎年恒例で開催しており、本年も7月24日に見附市で開催し大人から子供まで大いに盛り上がり、景品を受け取った方は満面の笑みでした。



定期大会は毎年9月、本年も9月24日に「第4回定期大会」を開催致しました。

以上、簡単ではありますが単組紹介でした。



過労死ゼロ

を実現するために

2014年6月に「過労死等防止対策推進法」が成立(同年11月施行)し、毎年11月が「過労死等防止啓発月間」です。過労死ゼロに向けて取り組みましょう。

調査結果から見える残業の実態...

●20年前から減らない年間総実労働時間

フルタイム労働者の年間総実労働時間は、ここ20年間でほとんど変わっていません。

●残業が発生する主な理由

人員が足りないため(仕事量が多いため) 平均外の仕事が発生するため 業務の縮約が激しいため 社員の経験やスキルが低い 社員間の業務の標準化ができていないため

●残業を行う場合の主な手続き

本人の同意と勤務表の提出 専断に本人が申請し、部長が承認する 所属長の指示がある場合のみ承認される

●過労死ゼロの実現のために

「行政(国・地方公共団体)や事業主の取り組みに加え、労働組合の役割がとて重要」

改善策は職場全体で考える必要がある

では、具体的にどのようなことに取り組めばよいのでしょうか?

労働組合として...

- 職場の残業時間を決めている36協定の遵守状況を点検しましょう。
- 1か月・1年間の残業時間は何時間で推移していますか?

特定の部署や人が過重労働になっていないか、職場点検をしましょう。

繁忙期やプロジェクトなどに必要な人員は配置されていますか?

ノー残業デーの導入や勤務間インターバルの導入・拡大などを検討しましょう。

ノー残業デーは定時に帰るだけでなく残業時間の削減が目的です。

一人の働く人として...

- 自身のストレスの状況に気付き、セルフケアに努めましょう。
- 気分転換やゆっくり休むこと、そして良質な睡眠は大切です。

自分自身の不調に気がいたら、周囲の人や専門家に相談しましょう。

労働組合に職場の状況を相談してみませんか?

周りで悩んでいる人がいたら、声をかけましょう。

メンタル不調なら、こころの耳 (http://kokoro.mhlw.go.jp/) などのポータルサイトもあります

連合にご相談を!

0120-154-052

日本の労働者にとって深刻な「過労死」問題!

「過労死」という言葉は、海外でも「KAROSHI」と言われています

でも、早く帰ろうと思ってもなかなか帰れないのが現実だよね...

それじゃあダメだよ!!

まずは過労死について正しく理解し、身近なところから「過労死ゼロ」に取り組んでみましょう

過労死等と呼ばれる脳・心臓疾患による死亡者数は、ここ数年、100人前後で推移しているんだ。

残業時間が長い方が疲労の蓄積度が高い

1週間の残業時間	0時間以上5時間未満 (n=467)	5時間以上20時間未満 (n=6277)	20時間以上 (n=1454)
疲労の蓄積が低い	66.5	18.5	9.8
やや高い		25.1	21.4
高い			43.9
非常に高い			28.6

時間外・休日労働時間と健康障害リスクの関係

月100時間超または2ヶ月連続で月80時間を超えると健康障害リスクは「高い」になる

月45時間以内は健康障害リスクは「低い」

「過労死等」とは、業務における過重な負担による脳・心臓疾患や、業務における強い心理的負担による精神障害を原因とする死亡や、これらの疾患のことです。

残業時間が長いほど、疲労の蓄積度およびストレスを感じるとされる割合が多くなるとの調査結果も出ていて、過労による心身の健康被害は深刻な状況となっています。

過労死等は、時間外・休日労働が月に45時間を超えて長くなるほど、業務と発症との関連性が徐々に強まり、月に80時間を超える残業は「過労死ライン」とも呼ばれています。

毎年11月は、過労死等防止啓発月間です

日本労働組合総連合会(連合)